

アンコール・ワット：angkor < nagara （都）

12 世紀前半、スールヤヴァルマン 2 世の建立。ヒンドゥー教の寺院。

1. 環濠：東西 1500 メートル、南北 1300 メートル、幅 200 メートル。
2. 参道：西から進入。石橋で環濠を渡る。欄干はかつて「乳海攪拌」の場面を描く。
3. 周壁：東西 1030 メートル、南北 840 メートル。
4. 西大門：南北 230 メートル。三塔形式。中央に王の門、左右に二つの門。南北には階段が無い象門が二つ。
5. 前庭：中心に参道。その南北にそれぞれ経蔵と聖池。
6. 参道：前庭中央を西から東へ直進。ナーガ（大蛇）の欄干をもつ。
7. 内苑：三重の回廊、中央に祠堂
8. 第一回廊：東西 200 メートル、南北 180 メートル。
 - 西面南：マハーバーラタの場面。左から攻めるパーンダヴァ族と右から攻めるカウラヴァ族の軍。
 - 西面北：ラーマヤナ場面。とくにラーマ王子たちがランカー島で魔王ラーヴナと戦う場面。王子の顔は建立者スールヤヴァルマン 2 世の似姿。
 - 南面西：「歴史回廊」。行幸するスールヤヴァルマン 2 世とそれに従う王師、大臣、将軍、兵士など。
 - 南面東：「天国と地獄」。上段に天国、中段に閻魔大王らと裁きを待つ人々、下段に地獄を描く。
 - 東面南：「乳海攪拌」。神々と阿修羅らが大蛇ヴァースキを引っ張り合って、マンダラ山を回して海を攪拌。
 - 東面北および北面：後の 16 世紀頃に増補。クリシュナと怪物バーナとの戦い。
9. プリヤポアン（千体仏の回廊）：第一回廊と第二回廊の間を結ぶ十字回廊。南北に経蔵。森本右近太夫一房の墨書。
10. 第二回廊：第一回廊から 17 段の石段を登る。東西 115 メートル、南北 100 メートル。石畳の中庭に第三回廊と祠堂がそびえる。第二回廊の四隅に祠堂（プラサート）。
11. 第三回廊：高さ 13 メートルの急勾配の石段を登る。一辺 60 メートル。四隅と中央に須弥山を模した祠堂。第三回廊に囲まれて田の字型に四つの中庭。
12. 中央祠堂：高さ 65 メートル。かつてヴィシュヌ神を祀る。現在は、四体の仏像。各所にアプサラスまたは女神（デーヴァター）の像。

